

沼田東小学校の自慢

私の学校、沼田東小学校は、緑豊かで笑顔の絶えない学校です。

私が考える沼田東小学校の自慢は、「足ピタピン」の姿勢と、「セット運動（沼田東つ子体操）」という準備体操です。

「足ピタピン」の姿勢とは、足を床にピタリとつけ、背筋をピンと伸ばして、授業や朝会に臨むことです。この「足ピタピン」の姿勢は、今年度から始めた新しいことです。

初めは、なかなかこの姿勢ができませんでしたが、いつも背筋や足を付けることを意識していると、これが当たり前になってきました。今では、この「足ピタピン」の姿勢をしつかりして、話を聞いています。「足ピタピン」の姿勢に気をつけると、一人一人の姿勢がよくなり、学校全体が揃うと、見ていても気持ちがよくくなります。

もう一つの自慢は、「セット運動（沼田東つ子体操）」です。

これは、体幹を鍛えるために始めた運動です。音楽に合わせて、柔軟体操をしたり、速く足を動かしたり、倒立のようなことをしたりします。

音楽に合わせて楽しみながら体幹を鍛えられるので、とてもいいと思います。

セット運動（沼田東つ子体操）をするようになって、体の色々なところが鍛えられて、バランス力もついたので、けがをすることも少なくなりました。

体幹を鍛えることは、良い姿勢にもつながります。在校生には新しい伝統として、引き継いでほしいと思います。



わがまちに望む夢

三原の未来を担う子ども達の声を紹介します
— 連載第25回 —

久井中学校の自慢

私が考える久井中学校の自慢は二つあります。

一つ目は、積極的にボランティア活動をしているということです。毎年10月に行われる「久井さわやか高原祭り」では、生徒のほとんどが祭りに参加し、ボランティア活動をしています。スタンブラリーのスタンプを押す係、舞台を準備する係など、自分に与えられた仕事に責任を持ってみんな最後までやりきります。地域の方からも喜ばれ、祭りの実行委員会の方から感謝状をいただきました。これからも、地域のためにボランティア活動を頑張ります。そして地域の方に、もっともっと喜んでいただきたいです。

二つ目は、絶滅危惧種である「ヒヨウモンモドキ」の保護活動に取り組んでいるということです。ヒヨウモンモドキについて専門家の方からお話をきいたり、生息環境の整備をしたりしています。ヒヨウモンモドキには、「ノアザミ」と「キセルアザミ」2種類のアザミが必要です。生息地に行き、全校生徒でアザミを植えました。また、アザミの近くにある雑草を抜き、ヒヨウモンモドキにとってよりよい環境をつくろうとしています。みんな「ヒヨウモンモドキを守りたい」という気持ちで、一生懸命活動しています。ヒヨウモンモドキを守っていくことで、久井の自然もより豊かになっていくと思います。そして、自然でいっぱい久井町、八幡町をこれからもずっと大切にしていきたいです。たくさんヒヨウモンモドキがまた飛ぶことを願っています。

自慢であるボランティア活動もヒヨウモンモドキの保護活動もずっと続けていき、久井中学校の伝統として大切に受け継いでいきたいです。

